



△現在の新橋・銀座付近 (左: 五千分一東京図測量原図「東京府武蔵国京橋区木挽町近傍」(縮小)、右: 左図と同範囲の東京実測全図(「七幀」、部分/縮小))

いくつかの内乱を経て新政府が安定期に入った明治10年代の東京中心部の姿を「五千分一東京図測量原図」は活き活きと蘇らせてくれます。1軒1軒の家屋や庭の池の形まで華麗な色彩で精巧に描かれ、当時の市街地の広がりや土地利用の様子もよくわかります。明治維新により町並は大きく変わりましたが、街路網は幕末の江戸そのままです。帝都防衛のために明治新政府が鋭意作製したこの地図は、120年以上経た今日、国土地理院に大切に保管されています。本書は、世界に唯一この原図を忠実に復刻したものです。

図葉ごとに用意されたオーバーレイを利用すれば、現在との位置関係を照合できます。また、同一地域を対象として、内務省地理局が刊行した「東京実測全図」も収録されています。この地図には地番が表記されていますので、各種の史資料に記録されている事物の位置確認に利用できるほか、文学作品を楽しむためにも大変参考になるでしょう。

### 本書の構成

- ・ 五千分一東京図測量原図(35面)
- ・ 東京実測全図(36面)
- ・ 五千分一東京図測量原図解説

清水靖夫(日本国際地図学会評議員、新宿区文化財保護審議会委員)